

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホテルルートイン亀岡駅前 新築工事	階数	地上10F
建設地	京都府亀岡市追分町(計画書参照)	構造	RC造
用途地域	商業地域、市街化区域、防火地域	平均居住人員	460 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2021年11月10日
敷地面積	2,560.88 m <sup>2</sup>	作成者	中野 勝
建築面積	874.44 m <sup>2</sup>	確認日	2021年11月15日
延床面積	5,708.54 m <sup>2</sup>	確認者	中野 勝



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	184 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
②建築物の取組み	138
③上記+②以外の	46
④上記+	0

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境	3.0
温熱環境	2.8
光・視環境	3.0
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

機能性	2.8
耐用性	3.0
対応性	2.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源	2.2
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

地球温暖化	3.8
地域環境	3.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 省エネ・地球温暖化防止について配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 ほぼ全面にF☆☆☆☆建材を使用している。	Q2 サービス性能 配管の耐用年数について配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 中・高木を効果的に配置し、またビロティ等で日陰を確保することで暑熱環境を緩和している。
LR1 エネルギー LED照明、空冷ヒートポンプ給湯器等の高効率機器を導入している。	LR2 資源・マテリアル 標準的な仕様としている。	LR3 敷地外環境 地球温暖化防止に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される